

令和2年6月10日

総務委員会

財務部財政課

予備費充用について

1 目的

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口の充実や、学校等の再開に伴う衛生対策等のため、予備費を活用し、迅速に対応するもの。

2 予備費充用額・充用先

119,070千円（令和2年度合計 1,699,844千円）

(単位:千円)

日付	充用先	充用内容	充用金額
5月15日	総務費	多文化共生総合相談ワンストップセンター業務拡充、多言語対応タブレット型情報端末の増設	9,207
5月15日	民生費	自動音声ガイダンスを用いたフリーダイヤルによる新型コロナコールセンターの設置	8,842
5月15日	総務費	在宅勤務用スマートフォンの配備	1,177
5月18日	教育費	小中学校及び高等学校への酸性電解水(次亜塩素酸水)生成器の設置	66,004
5月18日	民生費、教育費	幼稚園、保育園への酸性電解水(次亜塩素酸水)生成器の設置	33,840

3 事業内容

各充用先における事業内容の詳細は、別添のとおり。

令和2年5月15日

議員各位

予備費充用について

財務部財政課
企画調整部国際課

1 目的

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた本市に居住する外国人市民の安全・安心な暮らしの確保のため、予備費を活用し、多文化共生総合相談ワンストップセンター業務を拡充するとともに、多言語対応のタブレット型情報端末を庁内へ増設することにより、多言語相談対応・情報提供等の体制強化を図る。

2 予備費充用額・充用先

9,207 千円

款 総務費 項 総務管理費 目 国際化推進費
事業 多文化共生推進事業 多文化共生センター運営事業 節 委託料

3 事業内容

(1) 多文化共生総合相談ワンストップセンター業務の拡充 7,854 千円

①多言語相談対応

言語	変更前	変更後
タガログ語、ベトナム語、中国語、スペイン語、インドネシア語	週1回	週2～3回
ポルトガル語	週6回	週7回
英語	週5回	週5回（変更なし）

②多言語情報提供

言語：ポルトガル語、英語、中国語、スペイン語、タガログ語、
ベトナム語、やさしい日本語
内容：市や国等からの多言語による生活・行政情報の提供回数増
ツール：多文化共生センターHP、浜松国際交流協会フェイスブック等

(2) 多言語対応のタブレット型情報端末の増設 1,353 千円

台数：3台（現行15台⇒18台）

言語：13言語を想定（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、
インドネシア語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、
フランス語、ヒンディー語、ロシア語）

内容：テレビ電話を通じたオペレーターによる多言語通訳

配置：福祉総務課、産業総務課

(1)～(2) 計9,207千円

令和2年5月15日

議員各位

予備費充用について

財務部財政課
健康福祉部福祉総務課

1 目的

新型コロナウイルス感染症について、市民からの相談内容が、感染に関するものや各支援策に関する問い合わせなど多岐に渡ることから、市民の問い合わせにワンストップで対応するため、自動音声ガイダンスを用いたフリーダイヤルによる「新型コロナコールセンター」を設置する。

2 予備費充用額・充用先

8,842千円

款 民生費 項 社会福祉費 目 社会福祉総務費
事業 社会福祉総務運営経費 節 役務費

3 事業内容

自動音声ガイダンスを用いたフリーダイヤルによる「新型コロナコールセンター」を令和2年5月15日から設置する。

(1) 受付内容

①特別定額給付金関係及びその他の相談（福祉総務課）

受付時間：8時30分から17時15分まで

②感染にかかる相談（生活衛生課）

ア 症状があり、感染が特に心配な方の相談

受付時間：24時間

イ ア以外の相談

受付時間：8時30分から17時15分まで

③事業者からの相談

ア 休業要請協力金の相談（産業振興課）

受付時間：10時から17時まで

イ ア以外の相談（産業総務課）

受付時間：8時30分から17時15分まで

(2) 事業費の詳細

コールセンターの設置に伴う電話料及び初期工事費等のうち、5月及び6月の支払い分について予備費を充用する。※7月以降分は補正予算による対応を想定。

・フリーダイヤルの設置に伴う経費	65千円
・自動音声ガイダンス及び転送システムの設置に伴う経費	169千円
・電話機（スマートフォン）の増設に伴う経費	160千円
・フリーダイヤルに伴う電話料	8,448千円

令和2年5月15日

議員各位

予備費充用について

財務部財政課
企画調整部情報政策課
総務部人事課

1 目的

新型コロナウイルス感染症対策として実施している在宅勤務において執務環境を整えるため、予備費を活用し、スマートフォン30台を調達するもの。

2 予備費充用額・充用先

1,177千円

款	総務費	項	総務管理費	目	情報政策推進費	事業	庁内情報基盤維持管理事業
			中事業		ネットワーク等維持管理事業	節	役務費

3 事業内容

スマートフォン30台（※）を配備し、在宅において以下の対応を可能とする。

- ・電話による関係課や事業者等との連絡調整

職場に問い合わせがあった際、折り返しの連絡ができるなど速やかな対応が可能となる。

- ・サービス管理等

サービス管理や報告連絡相談が可能となる。

- ・インターネットによる情報収集

資料作成等に当たり、国や他自治体、企業等ホームページからの情報収集が可能となる。

※在宅勤務用のコアネットワーク機器（通信用の機器及びパソコン）30台とセットで貸し出す。

4 その他

新型コロナウイルスによる緊急事態終息後についても、サテライトオフィスやモバイルワーク、在宅勤務等の働き方改革に資するツールとして、引き続き活用する。

令和2年5月18日

予備費充用について

財務部財政課
学校教育部健康安全課
学校教育部教育施設課
学校教育部市立高等学校

1 目的

学校再開にあたり、集団感染リスクを避け感染症対策を徹底し、児童生徒の安全安心な環境を確保していくための一つの手段として、すべての小中高等学校へ酸性電解水（次亜塩素酸水）生成器を設置する。

2 予備費充用額・充用先

(1) 健康安全課 8,646 千円

款 教育費 項 保健体育費 目 健康安全費 事業 学校保健衛生事業 節 需用費

(2) 教育施設課 56,800 千円

①小学校（97校）38,800 千円

款 教育費 項 小学校費 目 小学校建設費 事業 小学校施設整備事業 節 工事請負費

②中学校（45校）18,000 千円

款 教育費 項 中学校費 目 中学校建設費 事業 中学校施設整備事業 節 工事請負費

(3) 市立高等学校 558 千円

①工事請負費 400 千円

款 教育費 項 高等学校費 目 市立高校建設費 事業 市立高校施設整備事業
節 工事請負費

②消耗品 158 千円

款 教育費 項 高等学校費 目 市立高校管理費 事業 市立高校教育事業 節 需用費

3 事業内容

(1) 酸性電解水生成器の設置 400 千円×143 校=57,200 千円

※小中一貫校及び分校は小学校でカウント。

(2) 電解補助液の購入 30,800 円（10L）×192 本=5,790 千円

(3) スプレーボトルの購入 1 千円×2,890 本=2,890 千円

(1)～(3) 計 66,004 千円

令和2年5月18日

予備費充用について

財務部財政課

こども家庭部幼児教育・保育課

1 目的

新型コロナウイルス感染症対策における登園自粛や臨時休園を解除するにあたり、感染症対策として集団感染リスクを低減し、児童の安全安心な環境を確保していくための手段として、市立保育園・幼稚園へ酸性電解水（次亜塩素酸水）生成器を設置する。

2 予備費充用額・充用先

(1) 民生費（市立保育園 20 園） 8,636 千円

①工事請負費 8,000 千円

款 民生費 項 児童福祉費 目 保育所費

事業 市立保育所管理運営事業 市立保育所施設整備事業 節 工事請負費

②消耗品 636 千円

款 民生費 項 児童福祉費 目 保育所費

事業 市立保育所管理運営事業 保育材料及び児童給食賄料事業 節 需用費

(2) 教育費（市立幼稚園 60 園） 25,204 千円

①工事請負費 23,600 千円

款 教育費 項 幼稚園費 目 幼稚園費 事業 市立幼稚園施設整備事業 節 工事請負費

②消耗品 1,604 千円

款 教育費 項 幼稚園費 目 幼稚園費 事業 市立幼稚園運営事業 節 需用費

3 事業内容

(1) 酸性電解水生成器の設置 $400 \text{ 千円} \times 79 \text{ 園} = 31,600 \text{ 千円}$

※熊幼稚園は、熊小学校と同施設のため、小学校で設置するものを共同利用する。

(2) 電解補助液の購入 $22 \text{ 千円} (4\text{L}) \times 79 \text{ 本} = 1,738 \text{ 千円}$

(3) スプレーボトルの購入 $1 \text{ 千円} \times 502 \text{ 本} = 502 \text{ 千円}$

(1) ~ (3) 計 33,840 千円